

会 告

◀ 土木学会・その他行事案内 ▶

月 日	行 事	備 考
1月17日(金)	関西支部海外事情講演会	12号4ページ参照
1月17日(金)	関西支部会員懇親会	12号4 "
1月18日(土)	第26回関東地区学生諸君のための映画会	1号4 "
1月20日(月)	土木賞候補推せん締切	10号 繰込
1月20日(月)	吉田賞候補推せん締切	9号 繰込
1月17日(金)~18日(土)	中国四国支部第5回見学会	1号6 "
1月28日(火)	日本工学会講演と映画の会	1号4 "
1月28日(火)	新幹線工事シンポジウム	1号7 "
2月8日(土)~9日(日)	河川災害に関するパネル・ディスカッション	1号5 "
2月10日(月)	第1回理工学における同位元素研究発表会申込締切	1号6 "
2月12日(水)~13日(木)	第2回原子力総合シンポジウム	1号5 "
2月15日(土)	土木学会第19回年次学術講演会申込締切	1号2 "
2月14日(金)~15日(土)	応力測定展示講習会(申込締切2月5日)	12号4 "
2月21日(金)	西部支部研究発表会	1号6 "
3月5日(木)~6日(金)	関西支部「建設工事と高分子材料講習会」	1号7 "
3月26日(木)~27日(金)	例題による水理公式集解説講習会	1号7 "

会員名簿発行についてのお詫び

土木学会会員名簿は昨年11月に発行すべく努力しておりましたが予想外にページがのびたこと、年末をひかえて郵便事情が非常に悪化したことなどにより38年中に会員各位のお手許に届かなかった地区もありますのでここに詫び申し上げます。なお、本名簿は38年度会費未納のかたへは送付致しませんので未納の方は至急会費をお払込み下さいますようお願いいたします。

付記：名簿発送とともに本誌をはじめご注文いただいております刊行物も郵便事情によりそうとう遅れておりますのでご了承下さい。

土木工学ハンドブック発行についてのお詫び

創立50周年記念出版として38年中発行を目標に努力を重ねてきた土木工学ハンドブックにつきましては、種々の事情から発行期日がつぎのとおり延期になった旨、出版社側より通知がありました。ご迷惑をかけ申し訳ありませんが何卒ご了承下さいますようお願いかたがたお願い申し上げます。なお会員特価締切期日は39年1月末日となっておりますからお早目に予約下さい。ダイレクト・メールを出版社側よりお送りしてあります。

記

土木工学ハンドブック上巻配本開始：昭和39年1月末日	1月末日までに前予約会員に限り	3800円
同 下巻配本開始：同 4月10日	同	3800円
同 全巻配本開始：同 4月10日	同	7000円

送 料 学 会 負 担

第 50 回通常総会および第 19 回年次学術講演会

昭和 39 年度通常総会（第 50 回）および第 19 回年次学術講演会はつぎの日程により仙台市で開催いたします。なお、年次学術講演会は従来の方では質疑討論の時間がほとんどなく、この時間をよけいに持ちたいとの会員の希望も多いので、学術講演連絡委員会等において協議した結果一部変更になりますのでご注意ください。

項 目	月 日	時 間	場 所
通 常 総 会	39 年 5 月 29 日 (金)	13:00~16:00	未 定
総 合 講 演 会	5 月 30 日 (土)	9:00~12:00	東 北 大 学
年 次 学 術 講 演 会	5 月 30 日 (土)	13:00~17:00	"
"	5 月 31 日 (日)	9:00~17:00	"
懇 親 会	5 月 30 日 (土)	18:00~20:00	未 定
見 学 会	6 月 1 日 (月)		"
	6 月 2 日 (火)		"

総会、懇親会、見学会、講演概要などの申込み方法は追ってプログラムでお知らせいたします。年次学術講演会に講演希望の方はつぎの要領をご覧のうえ、昭和 39 年 2 月 15 日（土）までに各支部あてお申込み下さい。

I. 学術講演会実施要領

- 1) 講演応募の要領は、期日の点を除いて例年のとおりとする。
- 2) 講演発表の要領は 4) 項に記す部門を除き例年のとおりとする。
- 3) 特に基礎的分野に属する講演の発表は同一種別のも数編ずつを、学会の委嘱した一般報告者が総括して行ない、その報告の後に質疑討論の時間を設ける。質疑討論の応答には各著者が当る。

なお、一般報告がすむまで著者はその場をはなれられない。

- 4) 一般報告を行なう部門はつぎのとおりとする。

(I) 構造力学

(II) 水理学、水文学、河川工学、港湾工学

(III) 土質力学

} などの一部または全部を予定している。

（これらの部門に属する講演概要の記述にあたっては、一般報告者がこの概要にもとづいて報告することを考え、必ずそれぞれの研究の考え方と結論をわかりやすく記すこと）

- 5) 参加者にはあらかじめ講演概要集を郵送する。質疑討論を行なうことを希望する者は原則として指定された用紙によって所定の期日までに学会に申込む。申込まれた質疑討論の内容はあらかじめ各著者に回付する。時間に余裕がある場合に限り講演会場で質疑討論の申込みを受付けることもある。
- 6) この方法を実施するため、締切り期限を厳守されたい。

II. 学術講演会申込要領

- 1) 講演申込方法；講演希望者は申込カード（4 枚複写綴、第 1 枚目は所属支部の控え、第 2 枚目、第 3 枚目は大会係用、第 4 枚目は講演者の控え）に部門、題目、スライドの有無、勤務先、会員種別、学位、氏名（連名の時は講演者に○印をつける）、卒業学校名および年次、連絡先を明記のうえ 2 月 15 日（土）までに所属支部へお申込み下さい（関東支部は本部）。申込カードは各支部へ請求して下さい。各支部では講演申



(写真：土木学会東北支部提供)

かまくら

横手市とその付近で古くから行なわれている行事である。毎年 2 月 15 日頃写真のような雪室をつくり、その雪穴の正面に水神を祭って灯明をあげ、子供たちはなべ、かまをここへもちこみ火鉢をかこんで餅やいろいろの料理を食べたり、甘酒をくみかわしたりして楽しい夜を過ごす。このような素朴な子供を中心とした行事からも東北をしのぶことができるであろう。

込カード（1題につき2枚）をまとめて（仙台市北三番町 124、東北地建企画室、土木学会東北支部）
土木学会大会係までただちにお送り下さい。

- 2) 講演内容：講演は未発表のもので原則として1人1題にかぎります。
3) 講演時間：一般報告による前記部門以外の講演時間は15分とし、数編の講演後にまとめて討議時間を設けます。
4) 講演部門：講演部門は原則として、土木学会論文集委員会の部会の分類による予定ですから、ご希望の部門をお知らせ下さい。なお都合により部門を講演者の了承を得たうえで変更することがあります。

第1部門：応用力学，構造力学，橋梁等

第2部門：水理学，水文学，河川，港湾，発電水力，衛生工学等

第3部門：土質力学，基礎工学，土木機械，施工等

第4部門：鉄道，道路，コンクリートおよび鉄筋コンクリート，土木材料，都市計画，空港，測量等

- 5) 原稿提出要領：講演申込者にはつぎの要領で講演概要の原稿を提出していただきます。

- (a) 講演概要は講演者の原稿をそのまま縮写し、オフセット印刷としますから、所定の用紙をご使用下さい。
(b) 用紙は執筆要領（原稿の書き方）とともに講演申込者に所属支部からお渡しいたします。
(c) 原稿は**3月15日（日）**（期限厳守）までに所属支部に必着するようお送り下さい。各支部では講演申込者の原稿をまとめて、ただちに上記土木学会東北支部大会係までお送り下さい。
(d) 原稿の長さは1題目について2ページ（図表，写真とも）を原則とします。特に超過する場合（超過は2ページまでに限る）は1ページにつき2000円の製版料を申し受けます。

- 6) 講演概要：講演者（○印）には関係部門概要1部無料，一般は有料，抜刷は講演者（○印）には20部無料，20部を越える分ならびに連名の方には実費でお領けしますから講演申込カードに超過分の希望部数をご記入下さい。

7) 本部ならびに各支部所在地

本 部：東京都新宿区四谷1丁目 電 (351) 5138～9

北 海 道：札幌市平岸北海道開発局土木試験所研修係内 電 札幌 (83) 4161

東 北：仙台市北三番丁 124 建設省東北地方建設局内 電 仙台 (22) 4191

中 部：名古屋市中区南外堀町6の1 名古屋水道局上水部拡張課内 電 名古屋 (94) 5511 内 295

関 西：大阪市天王寺区堀越町110番地 天王寺ステーションビル4階 電 大阪 (761) 2881～9

中国四国：広島市国泰町 39 広島市建設局土木課内 電 広島 (41) 111

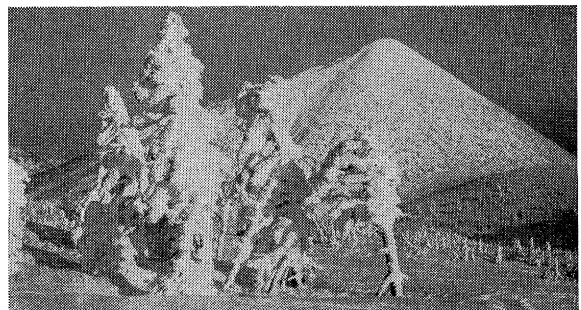
西 部：福岡市土手町6 建設省九州地方建設局内 電 福岡 (75) 4331

備 考：

- (a) 講演題目および著者名の申込締切期日（各支部宛）：1964年**2月15日**
(b) 講演概要の提出締切期日（各支部宛）：1964年**3月15日**
(c) 講演概要の参加者への発送期日：1964年**4月30日**
(d) 質疑討論の申込締切期日（東北支部宛）：1964年**5月15日**

八 甲 田 山

津軽平野に美しい裾野をひいている八甲田山は青森県の中央部にあり、那須火山帯に属する火山群で、南八甲田山系と北八甲田山系にわかれている。南八甲田山は楯状火山の集合したもので乗鞍岳（1450m）、駒ガ岳（1416m）などの山がありその南面は十和田湖までつづき、北八甲田山は楯状火山の上に噴出した成層火山で酸ガ湯岳（1585m）、赤倉岳（1548m）、八甲田大岳（1585m）などよりなっている。



(写真：土木学会東北支部提供)

「土木学会誌」広告掲載料金改訂について

本学会は大正3年11月設立以来、39年11月をもって創立50周年を迎えることになりました。この間本会の機関誌「土木学会誌」も年々充実しページ数、発行部数も従来にまして飛躍的に増加しつつあります。これも関係各位のご協力の賜物と深く感謝しています。しかし、今後よりいっそう誌面の刷新をはかりPR媒体としての内容を充実していくことは、最近の諸物価の高騰、印刷経費の値上り、取材費の増大を考えた場合非常に困難なので従来より本誌をご利用願っている各位に対しては誠に恐縮ですが来る39年4月号より広告料金を下記のとおり改訂いたしますのでよろしくご諒察下さいようお願い申し上げます。

1 ページ 当り 広告 料金

	表紙 2	表紙 3	表紙 4	後 付	色 紙	綴込 (持込み)
改 訂 後	44 000	40 000	48 000	36 000	44 000	50 000

水 理 公 式 集 再 版 刊 行

昭和38年度増補改訂版として刊行した水理公式集は発行以来たちまち品切れとなり、いろいろご迷惑をおかけしておりましたがここに誤りを全面的に訂正した再版ができりましたのでお知らせします。

体 裁：A5判 604 ページ 定価：1400 円 (〒150 円) 会員特価：1100 円 (〒150 円)

水理公式集および第10回海岸工学講演会講演集お持の方へ

水理公式集(昭和38年8月10日・第1版刊行分のみ)および第10回海岸工学講演集をお持ちの方は正誤表ができりましたので学会までご請求下さい。

第26回関東地区学生諸君のための映画会

定例による建設技術フィルムライブラリーと共催の第26回関東地区学生諸君のための映画会を下記のとおり開催いたしますので多数ご来会下さい。一般会員の方のご来会も歓迎いたします(入場無料)。

1. 開催日時：1964年1月18日(土) 14.30~16.00
2. 会 場：土木学会会議室(東京都新宿区四谷一丁目・外濠公園入口)
3. 上映映画：① 若戸大橋 ② 嵐山橋架設工事 ③ 名田橋工事記録

日 本 工 学 会 講 演 と 映 画 の 会

1. 日 時：1964年1月28日(火) 14.00~16.00
2. 場 所：日本化学会講堂(東京都千代田区神田駿河台1-5 明治大学大学院裏)
3. 演 題：最近の交通計画 東京大学教授 八十島義之助
4. 映 画：交通関係の映画

河川災害に関するパネル・ディスカッション開催

災害科学総合研究班（代表者・福井大学長 長谷川万吉）、河川専門分科会（主任・京都大学教授 石原藤次郎）の主催のもとに各専門の方々による河川災害に関するパネル・ディスカッションを下記要領により開催いたしますので、本学会はこれを後援することになりました。ふるってご参加下さいますようご案内いたします。

1. 期 日：1964年 2月 8日（土）13.00～17.00 9日（日）10.00～17.00
2. 場 所：日本化学会（東京都千代田区神田駿河台1の5 電話 291-0637（代））
国電お茶の水駅（水道橋側出口）下車徒歩3分、明治大学大学院裏
3. 討 議 課 題：1) 河川災害とは何か 2) 河川の防災基準 3) 災害予知および観測 4) 資料整理
4. 参加申込先：京都市左京区吉田本町 京都大学工学部土木教室内 河川災害専門分科会
5. そ の 他：討議資料は当日会場で配布いたします。

第2回原子力総合シンポジウム開催について

原子力関連 25 学協会の共催により、原子力研究者、技術者の知識の交流および普及をはかるため標記シンポジウムが下記により開かれますのでお知らせします。

1. 期 日：1964年 2月 12日（水）～13日（木）
2. 会 場：神田・学士会館（大集会室・北大食堂）
3. 内 容：下記のプログラムのとおり（なお、「予稿集」B5判オフセット印刷を2月初旬作製し実費 200 円程度で配布します）
4. そ の 他：詳細は、日本原子力学会内原子力総合シンポジウム運営委員会（TEL（591）5481・内線 59）にお問合わせ下さい。

第1日 2月12日（水）

A会場（大集会室）

開 会 9.30

挨拶

経過報告

9.45～10.45 講演1 世界の原子力開発状況とわが国の計画

10.50～11.40 講演2 高速炉開発の現況

11.40～12.30 講演3 増殖炉と日本の資源

13.30～16.00 総合講演1 放射線損傷

(1) 金属放射線の損傷 (50分)

(2) 半導体と絶縁材料の放射線損傷 (50分)

座長 吹田 徳雄

(3) セラミックス燃料中のEPの挙動 (50分)

日本原子力学会会長 瀬 藤 象 二

運営委員長 中 川 重 雄

座長 瀬 藤 象 二・原子力委員 石 川 一 郎

座長 中 川 重 雄・原 研 杉 本 朝 雄

座長 三 木 良 平・電力中研 高 橋 実

座長 竹 内 栄

東 大 理 鈴 木 秀 次

阪 大 工 大 石 嘉 夫

原 研 矢 鳥 聖 使

第2日 2月13日（木）

A会場

9.30～10.30 講演4 R.I. 製造の現況とその計画

10.40～12.30 討論会I 原子炉の熱設計上の問題点

討論者：船研 一色尚次・富士電機 明比道夫・日立 嶋井 清・三菱原子力

13.30～15.00 総合講演2 最近の原子力計装

(1) 原子炉計装 (40分)

(2) 半導体検出器 (40分)

座長 中 川 重 雄・原 研 木村健二郎

座長 橋 藤 雄

原研 鳥飼欣一・東工大 青木成文・原研 岡本芳三

長沼辰二郎・原子力事業 糠沢貞蔵・原研 古橋 晃

座長 西 野 治

原 研 天 野 昇

理 研 一 宮 虎 雄

B会場（北大食堂）

9.30～12.00 討論会II 使用済み燃料の輸送と処理

(1) 使用済み燃料をめぐる諸問題 (20分)

(2) 使用済み燃料の輸送 (20分)

(3) 再処理計画と問題点 (20分)

(4) プルトニウム利用の研究開発 (20分)

(5) 核燃料政策について (20分)

討論者：電力中研 高橋 実・東電 脇坂清一

13.00～13.50 講演5 JPDR の建設と運転計画

13.50～14.40 講演6 原子力発電と電力系統

14.50～16.00 講演7 原子力地下発電所

座長 今 井 美 材

原 電 吉 岡 俊 男

三菱海運 坂 卷 丈 平

原 燃 佐 藤 茂 郎

原 然 西 堀 栄 三 郎

原子力局 伊 原 義 徳

座長 大 山 彰・原 研 平 田 穰

座長 内 藤 正・東 電 脇 坂 清 一

座長 左 合 正 雄・京大工研 高 橋 幹 二

第 1 回理工学における同位元素研究発表会論文募集

関係 39 学協会の共同主催により標記の研究発表会が下記のとおり開かれますのでお知らせします。なお、同研究会で研究発表されるかたはつぎの要項でお申込み下さい。

1. 開催期日：1964 年 4 月 21 日 (火)～23 日 (木)
2. 会 場：東京大学
3. 発表論文：(1) 内容：それぞれの研究分野において、その専門的成果を得るにいたった同位元素および放射線の利用の技術に重点をおいた論文と、同位元素、放射線の利用の基礎となる研究論文とします。なお、得られた専門的成果の報告も差しつかえありません。研究の内容には、少なくとも一部に未発表の部分が含まれていることを必要とします。
(2) 発表申込区分：プログラム編成の便宜上、つぎのように申込区分を設けます。
① 放射性同位元素による放射線照射に関するもの（線源および装置に関するものを含む）・② 放射性同位元素以外の放射線発生装置による放射線照射に関するもの（装置に関するものを含む）・③ ラジオグラフィに関するもの（装置に関するものを含む）・④ オートラジオグラフィに関するもの・⑤ 放射線利用計測機器の利用と開発に関するもの・⑥ トレーサー的利用に関するもの・⑦ 分析に関するもの・⑧ 放射性同位元素の製造、分離、精製に関するもの・⑨ 化合物の合成、標識化に関するもの・⑩ 放射線測定法および測定器に関するもの・⑪ 放射線の遮蔽、施設、設備など安全取り扱いに関するもの・⑫ 廃棄物処理、汚染除去に関するもの・⑬ 保健、健康管理に関するもの・⑭ その他
(3) 発表時間：1 件の発表 15 分以内の予定
4. 発表申込：所定の申込書（1 件 1 通）によりお申込み下さい。所定の申込書は、下記あて請求して下さい。
東京都文京区駒込上富士前町 31 番地（理研内）
日本放射性同位元素協会内 理工学における同位元素研究発表会運営委員会・電話 981—4166
5. 発表申込締切：1964 年 2 月 10 日 (月) 必着
6. 講演要旨：講演要旨集を発行するので発表申込みがあり次第所定の原稿用紙（1 200 字程度）をお送りします。
7. 講演要旨原稿締切：1964 年 2 月 28 日 (土) 必着
8. その他：(1) この研究発表会の運営は、主催学協会より選出された各 1 名の委員で構成された運営委員会において行ないます。
(2) フルペーパーの報文集は特に発行しません。なお、日本放射性同位元素協会の学術機関誌“Radioisotopes”にはこの研究発表論文にかぎり、同協会会員外でも投稿することができます。
(3) つぎのいずれかに該当する場合には発表をお断りしますから、ご注意ください。
i) 講演要旨に記述された内容が本研究発表会の趣旨に合致すると認められない場合。
ii) 発表者の資格が、所属主催学協会の規定または慣例に合致しない場合。
iii) 期日までに講演要旨原稿が提出されなかった場合。

中国四国支部第 5 回見学会

1. 日 時：1964 年 1 月 17 日 (金)、18 日 (土)
2. 見 学 先：徳山曹達KK工場 若戸大橋 八幡製鉄KK
3. 申 込 先：広島市国泰寺町 39 広島市建設局土木課内 中国四国支部あてご連絡下さい。

西部支部研究発表会開催について

1. 開催日時：1964 年 2 月 21 日 (金) 9.00 より
2. 場 所：明治生命ビル（福岡市中島町 77）
3. 発表内容：土木技術全般にわたり自己の研究した課題
4. 発表要旨：400 字詰原稿用紙 7 枚以内（図表は B 5 判紐で現寸になるように書くこと 20 cm×14 cm）
5. 申込締切：1964 年 1 月 10 日
6. 原稿締切：1964 年 1 月 20 日
7. 申 込 先：福岡市土手町 6 建設省九州地建内土木学会西部支部

関西支部行事案内

(大阪市天王寺区堀越町 110 番地 天王寺ステーションビル 4 階)
電 大阪 (716) 7881 番 内線 336 番 振替口座 大阪 82599 番)

(1) 新幹線工事シンポジウム

1. 日 時：1964 年 1 月 28 日 (火) 13 時～17 時
2. 場 所：大阪科学技術センター 8 階小ホール 電 (443) 0821 番 大阪市西区靱 1 丁目 118 靱公園北東隅 地下鉄本町駅北西約 300 m
3. 題目と講師：

建設基準ならびに工事施工一般/国鉄大阪幹線工事局主任技師 原島竜一 ■ 構造物設計関係/国鉄新幹線局課長補佐 松本嘉司 ■ 停車場関係/国鉄新幹線局課長補佐 富井義郎 ■ 軌道ならびに保守関係/国鉄大阪幹線工事局主任技師 石原勉 ■ 車輛関係/国鉄新幹線局課長補佐 菅井満寿男 ■ 運転関係/国鉄新幹線局課長補佐 関川行雄 ■ 電気関係/国鉄大阪幹線工事局主任技師 武居栄作

以上の講師を囲んで討論形式とする。司会進行：国鉄大阪工事局土木課長 大 幸 拓 也
4. 映画：新幹線 16 m/m カラーシネスコ 50 分 5. 定員：100 名 6. 参加費：無料，来聴歓迎

(2) 講習会「建設工事と高分子材料」

主催：土木学会関西支部 協賛：日本材料学会関西支部・日本化学会近畿支部

1. 日 時：1964 年 3 月 5 日 (木)，6 日 (金) の両日，9 時～17 時
2. 場 所：大阪府職員会館 2 階大講堂 電 大阪 (941) 0351 番 大阪市東区大手前之町 大阪府庁本館西裏
3. 題目と講師：

第 1 日 (3 月 5 日)

時分 時分			
9.00～10.30	① 建設工事と高分子材料	京都大学工学部教授 工博	松尾新一郎
10.40～11.50	② 建設工事と塩化ビニール	積水化学工業KKパイプ事業本部企画班長	西村太郎
13.00～14.10	③ 建設工事とポリウレタン	三井化学工業KK中央研究所第三研究室長	小牧康郎
14.20～15.30	④ 建設工事とポリビニールアルコール	倉敷レイヨンKKポパール研究開発室主任研究員 工博	井本三郎
15.40～16.50	⑤ 建設工事とエポキシ	シェル化学製品販売KK化学品総部長補佐	大石直四郎

第 2 日 (3 月 6 日)

9.20～10.30	⑥ 建設工事とシリコン	東京芝浦電気KK中央研究所化学材料研究部研究員	丸山英夫
10.40～11.50	⑦ 建設工事とアクリルアミド	第一工業製薬KK化成品部課長	長谷川伸一
13.00～14.10	⑧ 建設工事とリグニン	山陽バルブKK研究所主任研究員	消岡繁夫
14.20～15.30	⑨ 建設工事とアクリルアミド	日東化学工業KK開発部主査	鷹取練一
15.40～16.50	⑩ 建設工事とアクリル酸塩類	東亜合成化学工業KK研究所長 工博	大橋九萬雄
4. 定 員：400 名
5. 参 加 費：600 円 (テキスト代を含む)
6. 申 込 期 限：1964 年 2 月 18 日 (火)
7. 申 込 方 法：参加希望者は勤務先，連絡先および氏名を明記のうえ参加費 600 円 (送金は振替口座利用) を添えて 2 月 18 日 (火) までに土木学会関西支部へお申し込み下さい。ただし申込期限内でも定員に達した時は先着順で決めますから早く申し込んで下さい。参加者には参加証をお送りしますから当日は必ず御持参下さい。参加証のない人は入場をお断りします。
8. そ の 他：テキストのみの希望者には一部 400 円 (送料はおって学会誌に広告) でお頒ちします。

(3) 例題による水理公式集解説講習会

1. 期 日：1964 年 3 月 26 日 (木)，27 日 (金) の両日
2. 場 所：大阪職員会館 2 階大講堂 電 大阪 (941) 0351 番 大阪市東区大手前之町 大阪府庁本館西裏
3. 講 師：18 名の講師を予定しております。
4. 参 加 費：700 円の予定
5. そ の 他：詳細については次号でお知らせいたします。